



上尾ロータリークラブ



2012-13年度テーマ
奉仕を通じて平和を



島村 健会長

第2466回 例会 会長あいさつ

2012.11.8

週報 No. 1939
発行 2012年11月15日

会長 島村 健
幹事 齋藤 博重
副会長 関口 和夫
副幹事 齋藤 哲雄
編集責任者
クラブ広報委員長 横山 泰史

ゲスト
2007年 社団法人 日本青年会議所
近現代史教育実践委員会 委員長
金子 一夫様
米山記念奨学生
周 京梅さん

行事予定
11月22日 地区大会に振替
11月29日 結婚・誕生祝い
(時間変更)

皆さんこんにちは。今日は、2007年日本青年会議所近現代史教育実践委員会委員長金子一夫様ご多用の中ようこそおいいただきました。ありがとうございます。卓話よろしく願います。米山奨学生の周さんよろこそ。また、会員の皆様には、ちょっとお時間をいただきまして修士論文のためのアンケートに協力をお願いしたいと思います。

先週11月3日に鴻巣ロータリークラブの創立45周年記念式典、祝賀会に大塚パストガバナー、尾花パストガバナー補佐、大木パスト会長、大塚パスト会長、齋藤幹事と出席いたしました。会場はアートグレイス大宮離宮という大宮のステラタウンの結婚式場でした。

今日はロータリー財団月間です。先週に引き続いてロータリーの友の田中RI会長のメッセージからの引用になりますが、ロータリー財団を説明する方法はさまざまですが、私は、ロータリー財団とは文字通り、ロータリーを支える「土台」であると考えます。自分の足元の地盤について考えたり、家を支えている柱について考える人はあまり多くありません。あるのが当然だと考えているからです。なくなった時に初めて、そのありがたさがわかるものです。2011年3月11日金曜日、日本では、足元にある地盤が崩れ落ちました。マグニチュード9の大地震が日本を中心から揺さぶったのです。1万5,000人以上の人が亡くなり、6,000人近くが負傷し、現在もほぼ3,000人の人が行方不明です。ほんの数時間で、裕福な先進国に住む約50万人が、何もかも失いました。快適で安全な暮らしから、体育館やテント、壊れた建物の中での、不確かな未来への不安を抱えた生活へと一変しました。

あの日に起こったことで、日本と日本に住んでいた人々は変わりました。自分たちの生活がいかにもろいものであるかを実感したのです。私はロータリーを通じて援助している人々の立場に、いつ自分が置かれるかわからないということを確認しました。

財団を通じて支援する人々のことを、私たちは、何か自分たちとは違うという目で見がちです。彼らは遠い国に住み、私たちはそれらの



AGEO ROTARY CLUB

人々の言葉や文化を知りません。水道水や衛生設備、医療、教育がないということがどのようなものなのか、わかりません。貧困、戦争、災害のニュースに関して、写真や記事を見ることがあります。私たちは、遠く離れたところから、苦境に直面している人々を見ていますが、彼らの立場に自分を置いて考えるのは、難しいものです。

私たちが支援するこれらの人々と私たちとを隔てるものは何もない、ということをご理解いただきたいと思ひます。私たちは、皆同じです。取り巻く環境が違うだけなのです。

財団を通じて、「世界でよいことをしよう」という財団のモットーを実践することができます。財団を通して、一人でするよりもっと多くの良いことができるのです。財団に大きな関わりがあるのは、私たちと何ら変わることはない人々なのです。今日理事会で審議いただきますが、公式訪問例会で田中ガバナーより50周年の記念事業にと「アフリカ保育器事業について」取り組んで行きたいと考えております。ぜひご理解、ご協力をお願いいたします

幹事報告

齋藤博重幹事

- ◆入会3年未満の方を対象とした「新会員のつどい」のご案内がきております。12月1日ラフォーレ清水園にて開催いたします。こちらには会長、長沼会員が出席予定です。その他の対象者は宮島会員、古賀会員、宇多村会員そして、ご紹介者の大塚崇行会員になります。よろしく願ひいたします。
- ◆地区から職業奉仕セミナーのご案内がきております。来年の1月26日に開催予定です。年内中に出席の確認をしておりますので、参加ご希望の方はご連絡ください。
- ◆来週の例会は新入会員の長沼会員に卓話をしたたく予定です。また、当日の夜に歓迎会を開催する予定です。ご予約のつく方はご参加よろしく願ひいたします。

委員長報告

50周年記念実行委員会 記念事業委員会 村岡武仁委員長

50周年記念事業につきまして図らずも私が記念事業の委員長を仰せつかりました。



先ほど会長からお話がありました。先日事業委員会を開催いたしまして色々なご意見、方針を頂戴いたしました。その中で広く皆さまからご意見を頂こうと決まりました。そして、地元で上尾ロータリークラブをアピール出来る事業をしたいと考えております。

現在、挙げられているのは上尾駅のペDESTリアンデッキにベンチを設置、青少年に夢と希望と感動を与えるモニュメントを作成して寄贈、上尾ロータリークラブ主催のスポーツ大会の開催、記念講演会など挙げられています。皆様、この記念事業へのご意見をいただきたいと思っています。よろしく願ひいたします。

ゲスト挨拶

米山記念奨学生 周京梅さん

みなさま、こんにちは。先ほど島村会長からもありましたが、私は日本語の敬語について調査しております。何故、敬語について調査をしているのかと言いますと、皆様ご存知の通り中国語には敬語がありません。日本語でお話する時にどの様な場面で使うのかが分からないです。後ほどアンケートをお配りいたしますので、ご協力よろしく願ひいたします。今日はありがとうございました。



卓話

2007年社団法人 日本青年会議所 近現代史教育実践委員会 委員長 金子一夫様

みなさん、こんにちは。私は26歳の時に上尾青年会議所に入りまして、当時の理事長が上尾ロータリークラブ会長の島村さんでした。そして40歳



までJCで色々と学ばせていただきました。青年会議所で39歳の時に地域から日本全国へ委員長として出向をしております。その時、委員会が近現代史教育実践委員会でした。日清、日露、第1、2次世界大戦に関する歴史教育をテーマに活動しました。日本青年会議所ではこの近現代史をまとめたDVDを作成しました。そして、私が委員長の時に全国の中学校に出向き現地の中学生と共に学び普及をしていました。このDVDは日本青年会議所の見解で作られた物で、一度国会の教育再生特別委員会で取り上げられた事がありました。また、上尾の議会でも取り上げられました。子どもたちが自分たちの国に誇りを持つような歴史教育、国民教育はどんな物だろうかと一年間考えながら全国の教育委員会に出向いていました。

この活動で中学生から様々な意見がでましたので、一部紹介したいと思います。「戦争は日本が悪いと思っていたが、そうではないと理解できた」、「昔の日本の人が守ってくれた、この国をこれからも大切にしていかなければいけないと思った」、「学校で習う社会の歴史で教わるのが出来ない事もたくさんあると知ったので、自分で調べていきたいと思った」、「自分自身の変化は日本に対する思いです。小さな島国だけれどもたくさんの思いが、詰まった歴史があると大切に思っ、日本という国にこれからも住んでいきたいと思ひます。」などの声を聞くことが出来ました。

また、関東一円の青年会議所が集まって硫黄島に行くという話が出てきました。当時は民間では遺族会しか行けない状況でした。

そこでJAL、入間基地の方とご相談をしてなんとか協力のもと行くことが出来ました。いまでも8000人以上の方の遺骨が収集されてないというお話もありました。到着してまず感じたのは暑さ、硫黄の臭い、あちらこちらに落ちている葉が印象的でした。自衛隊の方に案内してもらったのですが、いまだ地雷が残っている可能性があるという事で、絶対に道から外れないでくれと言われました。また、年に3回アメリカの星条旗が揚がるそうです。

その後、ジャーナリスト笹幸恵さんと一緒になって近現代史研究会を開きました。いまでも笹さんを中心に東京新宿で活動しています。私は今、お手伝い出来ない状況ですが、近現代史研究会では年間に10人くらい戦争経験者をお呼びして記録をしています。この記録は後世に伝えるための資料としていまも記録をし続けています。もし機会がありましたらご紹介いたしますので、その時は私までご連絡ください。

歴史の認識はそれぞれ皆様がお持ちだと思います。ただ、次世代の子どもたちのために歴史教育、国民教育の責任世代として考えていかないといけないという機会を今回、青年会議所から与えられたと思っております。それまで私も知りませんでしたが、ガムで28年振り見つかった横井庄一さんですが、当時、私の母の叔父がガムの政府観光局の所長をやっている、発見された横井庄一さんとガムから日本と一緒に帰ってきたそうです。

私も全然知らなくてこの委員会の活動で関心を持つようになっ、横井さんからその後、話を聞くようになりました。横井さんは帰国後、名古屋で結婚されまして横井さんの奥さんに会いに行きました。また、叔父は亡くなったのですが、叔父の奥さんに会って3日目の事を記録に残そうと取り組んでいます。ただ3日前に叔母が亡くなったとの手紙がきまして私ももう少し早く記録を残す取り組みにかかれれば良かったと感じております。

なかなか仕事をしながらこういった活動するのは大変ですが何か子どもたちに伝えていければと思っております。

最後に明星大学教授の高橋史朗さんコメントを紹介したいと思います。

「戦後の歴史の原点は、スミスの書いた太平洋戦争史であり、その多くの出典は平和と戦争という米国主観であります。悪玉、善玉という主観で日、独、伊が悪玉で米、英が善玉であり、正義の国が邪悪な国を裁いたという戦争として、一方的に日本を裁いた歴史を自国の物語として学んできた。また教科書の検閲もあり愛国心や国家的英雄を教える来なかった。何故、英雄を教えないのか？それは日本への誇りが生まれるからであります。小中学校の義務教育ではまず、自国の立場をきちんと教える自国の愛情を育てていくのが、世界の常識であります。日本の若者は領土の問題は語れません。中国や韓国の若者と議論が出来ません。それは学んでいないからであり、それが現状であります。歴史教育には順序があります。まず、小中学生は自国の立場を学び、高校・大学では相手の立場で客観的に複眼的に見る。そういう歴史感を育てる事が大切であり、JCの皆さんが誇りの復権を目指すべくDVDを作られたのは必然だと思います。教科書問題は私達がどう歴史認識を持って、自分の言葉で自分の子どもたちに伝えられるかどうか重要になってきます。」とコメントをいただいて、一年間委員長として頑張っております。

今日は近現代史というテーマでお話させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

2012~2013年度 10月 出席表

| 会員名 | 第2461回 10月4日 | 第2462回 10月11日 | 観戦旅行 10月20-21日 | 第2464回 10月25日 | 当月(%) | 通算(%) |
|--------|-----------------|------------------|-------------------|------------------|---------|---------|
| 井上 清 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 宇多村 海児 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 大木 保司 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 大塚 崇行 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 大塚 信郎 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 岡野 晴光 | ○ | M | ○ | ○ | 100.00% | 93.75% |
| 尾花 正明 | ○ | ○ | ○ | M | 100.00% | 100.00% |
| 川島 紹佑 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 25.00% | 12.50% |
| 神田 博一 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 75.00% |
| 吉川 公夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 93.75% |
| 久保田 勲 | ○ | ○ | ○ | M | 100.00% | 93.75% |
| 古賀 昇 | ○ | ○ | ○ | 欠 | 100.00% | 56.25% |
| 小林 邦彦 | ○ | ○ | ○ | M | 100.00% | 100.00% |
| 齋藤 重美 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 齋藤 博重 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 齋藤 哲雄 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 島村 健 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 須田 悦正 | ○ | ○ | ○ | M | 100.00% | 100.00% |
| 関口 和夫 | M | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 武重 圭雄 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 富岡 均 | 欠 | 欠 | ○ | ○ | 50.00% | 25.00% |
| 富永 達 | ○ | M | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 長沼 大策 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 名取 勝 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 87.50% |
| 沼尻 克美 | M | 欠 | ○ | 欠 | 50.00% | 68.75% |
| 野瀬 哲正 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 萩原 修 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 56.25% |
| 磯口 雅之 | ○ | M | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 深澤 圭司 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 藤村 作 | ○ | 欠 | ○ | M | 75.00% | 87.50% |
| 細野 宏道 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 100.00% |
| 宮島 亜矢子 | 欠 | 欠 | ○ | 欠 | 25.00% | 43.75% |
| 村岡 武仁 | ○ | M | ○ | ○ | 100.00% | 93.75% |
| 横山 泰史 | ○ | ○ | ○ | M | 100.00% | 93.75% |
| 吉野 文朗 | ○ | ○ | ○ | 欠 | 75.00% | 25.00% |
| 渡邊 清 | ○ | ○ | ○ | ○ | 100.00% | 75.00% |

スマイル 26,000円

- 島村会長 金子様よろこそ、卓話ありがとうございます。
- 関口副会長 金子様卓話ありがとうございます。
- 齋藤博重幹事 金子様卓話ありがとうございます。
- 関野副幹事 結婚祝いありがとうございます。
- 長沼会員 卓話ありがとうございます。
- 大木会員 金子さん卓話ありがとう。また台北空港であいましょう

村岡会員 小林会員 古賀会員 渡邊会員 大塚会員 齋藤会員
藤村会員 萩原会員 武重会員 井上会員 野瀬会員 磯口会員

